



×



大原美術館
OHARA MUSEUM OF ART
(公益財団法人 大原芸術財団)

による官民共同事業

児島虎次郎記念館整備応援プロジェクト



倉敷市 建設局 まちづくり部 まちづくり推進課

岡山県倉敷市のご紹介

岡山県倉敷市のご紹介 【位置・人口】



岡山県倉敷市のご紹介【経済】

玉島ハーバーアイランド

水島臨海工業地帯

製造品出荷額 約4.6兆円

(出典：2022年経済構造実態調査)

市町村別
ランキング
第2位

県内の
出荷額の
約55%

岡山県倉敷市のご紹介【自然】



せとないかい
約50の島々が浮かぶ穏やかな **瀬戸内海**
日本最初の国立公園 **瀬戸内海国立公園**

岡山県倉敷市のご紹介 【観光】



くらしきびかんちく
倉敷美観地区 328万人
(倉敷市全体 520万人)

県内
第1位

※新型コロナウイルス感染症の影響が大きいため、これ以前の令和元年度の実績を掲載しています

事業に対する想い

根本にある想い

少子高齢化

東京一極集中

地方の過疎化

災害の激甚化

失われた30年

.....

日本を
元気にしたい !!

地方の存在意義

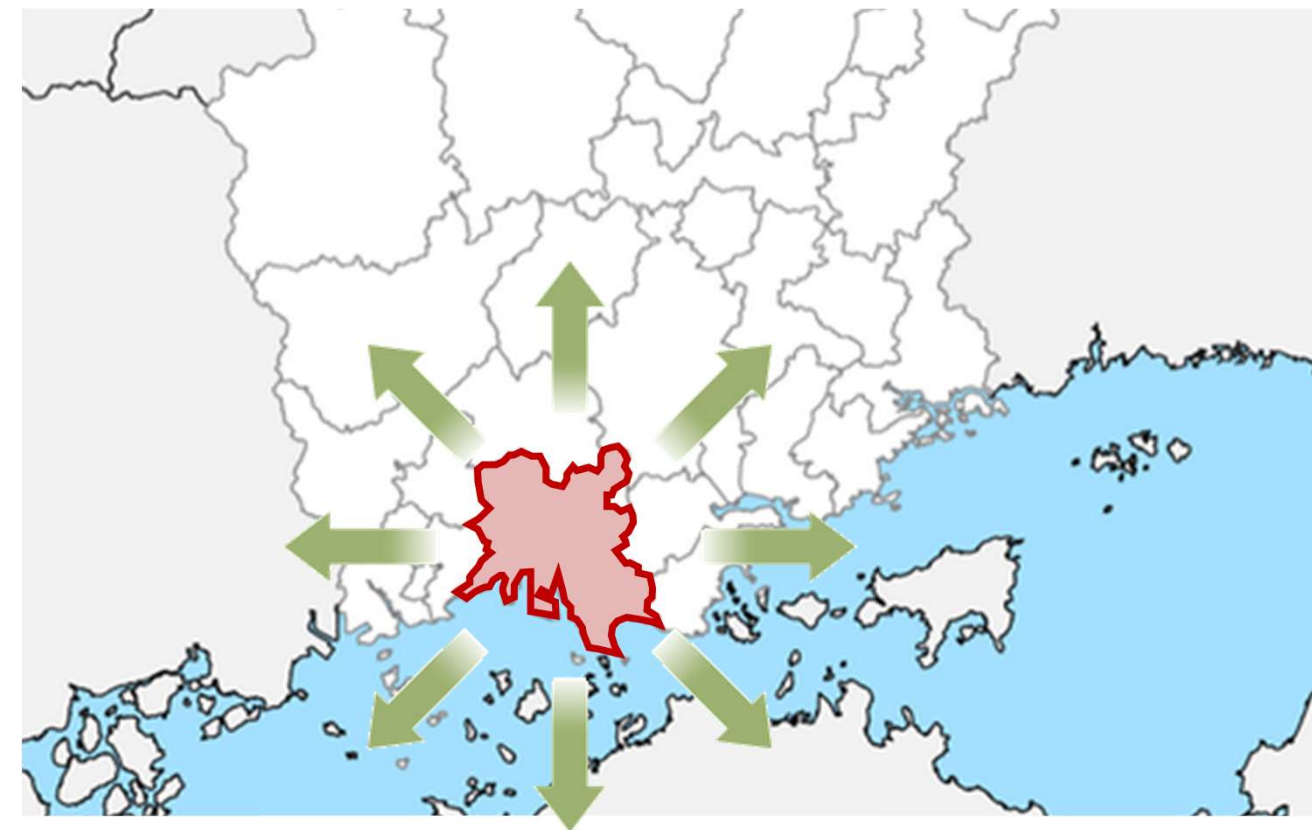


日本の ほとんどは 地方です

日本の
国土：約99%
人口：約82%
が地方です
(地方 = 東京都・大阪府を除くエリアとして計算)

地方の活力は日本の活力に直結します

中核市の責務



中核市は

**広域エリアの
人流・商流・物流の要**

中核市の衰退は

**近隣のまちの
持続可能性に影響**

**中核市の活力は、日本の地方創生に向けた
重要なポイントだと責任を感じています**

地方がすべきこと（まちづくりの観点）

まちの個性を磨き続けること

まちの魅力が
生まれる

ここにしかない
モノ・ヒト・場所が生む
個性ある魅力

まちに関わる人
が増える

就職・UIターン・住む・
観光する・まちづくりに取り組む
人が増える

賑わいが生まれ
持続可能なまちへ

まちを次世代につなぐ
未来への取組に

事業の内容

事業の目的



事業の概要

児島虎次郎記念館整備応援プロジェクト

地域の魅力や賑わいの中核となる拠点を官民共同で創ります！この事業は江戸時代からの白壁の蔵屋敷が立ち並ぶ家並みと明治以降の洋風建築が調和した倉敷美観地区内の建物を再生し、「児島虎次郎記念館」を整備するプロジェクトです！



官民共同事業



大原美術館
OHARA MUSEUM OF ART
(公益財団法人 大原芸術財団)



※倉敷市と公益財団法人大原芸術財団は、包括連携協定を締結し、地方創生に係る協力関係を構築しています。

事業実施場所



旧第一合同銀行倉敷支店

＜所在地＞

倉敷市本町3番1号
(倉敷美観地区内に立地)

＜建築年次＞

大正11年（築102年）

＜歴史＞

大原美術館の創設者である大原孫三郎が設立した旧第一合同銀行の倉敷支店。H28年まで中国銀行倉敷本町出張所として営業され、その後、建物は大原美術館へ寄贈されました。

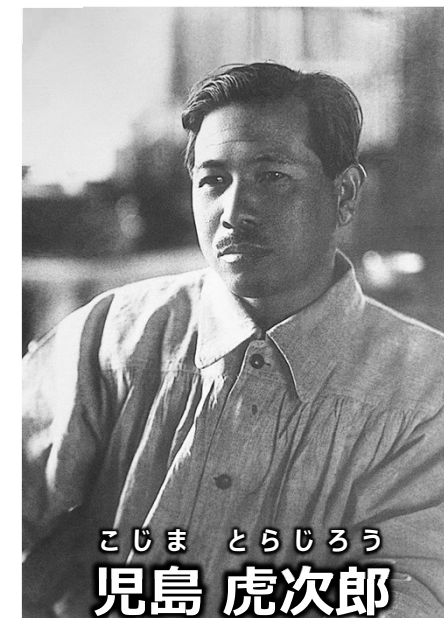
(市指定重要文化財)

児島虎次郎記念館とは①

「大原美術館」の礎となる美術品を収集したのが「**児島虎次郎**」です！



エル・グレコやモネ、ピカソなどの西洋美術の名作が見られる大原美術館を創設した実業家。



孫三郎の勧めでヨーロッパへ留学した洋画家。日本の芸術界のために、大原美術館の礎となる美術品を収集した。

児島虎次郎記念館とは②

旧第一合同銀行倉敷支店を改修し、児島虎次郎の作品と彼が収集した古代エジプト・西アジアの古美術（1,000点以上）の展示施設をつくります！



大原美術館の地方創生の取組

地域創生に向けて様々な活動を展開しています!!

学生・団体の受入（年間2万人）

●学校まるごと美術館

20年以上にわたり、休館日を活用して、市内2つの小学校・全校児童が美術館で授業を実施しています。

●チルドレン・アート・ミュージアム

毎年8月に約15個のワークショップを同時実施。全国各地からの1,000名超の参加者が訪れます。

●未就学児童（5歳児）の受入

1993年から30年間以上、年間延べ3,000名の未就学児童を受け入れています。



学校まるごと美術館

チルドレン・アート・ミュージアム



未就学児童（5歳児）の受入

アーティスト支援

20年間にわたり 50名以上のアーティストと協同

●有隣荘特別公開

大原家旧別邸・有隣荘を舞台に、世界的な活躍を見せるアーティストが展覧会を開催。



●ARKO

Artist in Residence Kurashiki Ohara

児島虎次郎が使用したアトリエでの滞在制作プログラム。毎年1名が最長3か月間制作し、完成作を公開。



●AM倉敷

Artist Meets Kurashiki

映像やダンスの作家を招聘し、倉敷で取材した作品を展示・公開。若手作家とは長期間かけて展覧会を作り上げる。



鑑賞体験のサポート

良質な鑑賞体験を作るために
毎日、多くのスタッフが汗をかいています



明日の日本を作る基盤整備です!

得られる成果等 【数値目標】

アウトプット

- 年間来館者数50,000人/年
- ワークショップ参加者数250人/年

アウトカム

- 人流の改善・回遊性の向上
 - ・ 隣接する本町通りの通行量について、前年比101%を5年間継続

寄附をしていただく企業様のメリット

✓ **オープニングセレモニーにご招待します！**（令和7年4月3日開催予定）



倉敷市×大原美術館にて、オープニングセレモニーの後、ご希望の企業様へは、倉敷美観地区を散策しながら、エリアの歩み、魅力、まちづくりの取組などを解説する「まち歩きツアー」を実施いたします！セレモニーへのご参加にあわせまして、企業様の会議・研修・視察などでも、ぜひご活用ください！

✓ **市からお礼状をお届けします！**

✓ **倉敷市HPへ企業名を掲載します！**

お問合せ先・事業の詳細

本事業全体に関する
総合的なお問合せ



倉敷市建設局 まちづくり部 まちづくり推進課

TEL 086-426-3025

Email citydevpromo@city.kurashiki.okayama.jp

HP <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/machi/>

ご寄附に関する
お問合せ・申込先



倉敷市企画財政局 企画財政部 財政課

TEL 086-426-3155

Email fnce@city.kurashiki.okayama.jp

HP <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/29443.htm>

児島虎次郎記念館
に関するお問合せ



公益財団法人大原芸術財団

TEL 086-422-0005

Email info@ohara.or.jp

HP <https://www.ohara.or.jp/>

本プロジェクトの
詳細は広報チラシを
ご覧ください



掲載先HP（QRコードは右記）

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/secure/161990/kojimatorajiroukinenkan.pdf>

広報チラシのリンク

